

岡山県の景気観測調査

(令和2年7～9月期実績)

令和2年10月29日

岡山県商工会議所連合会

1. 調査方法 FAXによるアンケート
2. 調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目
①令和2年7～9月期を前年同期と比較
②令和2年10～12月期の先行き見通しを令和2年7～9月期と比較
3. 調査時期 9月下旬
4. 調査対象 県下商工会議所会員企業565社
5. 有効回答数 535社 (回収率94.7%)
- | | | | | |
|-------|------|------------|------------|------------|
| 製造業 | 179社 | 食料品26社 | 繊維関連31社 | 紙・印刷・出版21社 |
| | | 機械金属35社 | 電気・精密機械10社 | 鉱業・窯業・土石9社 |
| | | 輸送用機械器具12社 | その他35社 | |
| 建設業 | 92社 | | | |
| 卸売業 | 68社 | | | |
| 小売業 | 85社 | | | |
| サービス業 | 111社 | | | |
6. 調査開始時期 平成10年(1998年)12月

7. DI(ディフュージョン・インデックス)方式

DIは各調査項目について判断の状況を示す。
ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)の回答割合が多いことを示す。
 $DI = (\text{増加・好転など「良い」の回答割合}) - (\text{減少・悪化など「悪い」の回答割合})$

8. 問い合わせ先 岡山県商工会議所連合会 TEL(086)232-2262

岡山商工会議所	事業推進部	TEL(086)232-2262
倉敷商工会議所	産業振興課	TEL(086)424-2111
玉島商工会議所	経営支援課	TEL(086)526-0131
児島商工会議所	総務課	TEL(086)472-4450
津山商工会議所	経営支援課	TEL(0868)22-3141
玉野商工会議所	総務課	TEL(0863)33-5010
笠岡商工会議所	指導課	TEL(0865)63-1151
井原商工会議所	業務課	TEL(0866)62-0420
備前商工会議所	経営支援部	TEL(0869)64-2885
高梁商工会議所	経営支援課	TEL(0866)22-2091
総社商工会議所	地域支援課	TEL(0866)92-1122
新見商工会議所	指導課	TEL(0867)72-2139

令和2年7～9月期「景況概要」

「景況DIは5期ぶりに改善。持ち直しの動きが見られる」

景況全体では、DI値が▲49.0となり、調査開始以来最低の水準を記録した前期(▲51.7)と比べ、2.7ポイントマイナス幅が縮小し、5期ぶりに改善した。業種別に見ると、製造業、卸売業、小売業、サービス業でDI値が改善したが、建設業ではDI値が悪化した。項目別においても、生産額・売上額、受注額、資金繰りなどほとんどの項目でDI値が改善しており、新型コロナウイルスの影響は依然としてあるものの、景況は持ち直しの動きがみられる。

1. 景況

総合DI（好転－悪化）は▲49.0と4～6月期に比べ2.7ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業ではマイナス幅が拡大した。

2. 生産額・売上額

総合DI（増加－減少）は▲61.5と4～6月期に比べ1.7ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小、製造業でマイナス幅が拡大した。

3. 受注額

総合DI（増加－減少）は▲53.6と4～6月期に比べ4.1ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、建設業でマイナス幅が縮小した。

4. 原材料・商品仕入価格

総合DI（下降－上昇）は▲4.4と4～6月期に比べ4.4ポイント悪化しプラスマイナスゼロからマイナスへ転換した。

業種別では、建設業でマイナス幅が縮小した。しかし、サービス業ではプラス幅が縮小、卸売業、小売業ではプラスからマイナスへ転換、製造業ではマイナス幅が拡大した。

5. 製品・商品販売価格

総合DI（上昇－下降）は▲8.3と4～6月期に比べ4.1ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、卸売業でマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、製造業ではマイナス幅が拡大した。

6. 製品在庫・商品在庫

総合DI（減少－増加）は6.5と4～6月期に比べ1.3ポイントプラス幅が拡大した。業種別では、小売業、サービス業でプラス幅が拡大、製造業でマイナスからプラスへ転換した。しかし、卸売業ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換した。

7. 資金繰り

総合DI（好転－悪化）は▲29.0と4～6月期に比べ7.1ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業ではマイナス幅が拡大した。

8. 採算（収益）

総合DI（好転－悪化）は▲51.0と4～6月期に比べ1.5ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、製造業、建設業ではマイナス幅が拡大した。

9. 従業員（常用）

総合DI（不足－過剰）は7.4と4～6月期に比べ4.8ポイントプラス幅が拡大した。業種別では、小売業でプラス幅が拡大、卸売業でプラスマイナスゼロからプラスへ転換、サービス業でマイナス幅が縮小、建設業でプラスで横ばいとなった。しかし、製造業ではマイナス幅が拡大した。

10. 従業員（臨時）

総合DI（不足－過剰）は2.2と4～6月期に比べ4.4ポイント好転しマイナスからプラスへ転換した。

業種別では、小売業でプラス幅が拡大、卸売業でマイナスからプラスへ転換、サービス業でマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、製造業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業ではプラス幅が縮小した。

1. 景況

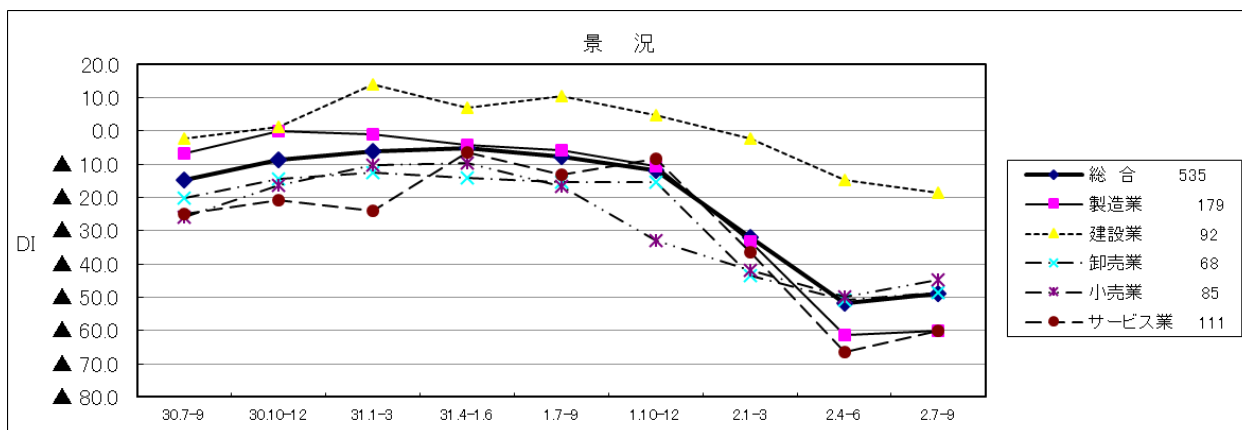
(1) 全体

総合DI（好転－悪化）は▲49.0と4～6月期に比べ2.7ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業ではマイナス幅が拡大した。

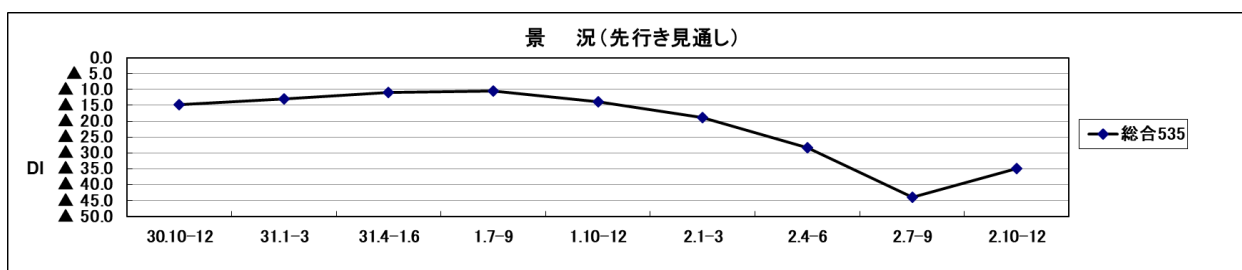
令和2年10～12月の見通し総合DIは▲34.9（前回調査時の先行き見通し総合DI▲44.0）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

景況		30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9
総合	535	▲14.8	▲8.7	▲6.3	▲5.1	▲7.9	▲12.0	▲32.0	▲51.7	▲49.0
製造業	179	▲6.8	0.0	▲1.1	▲4.3	▲5.9	▲10.5	▲33.3	▲61.4	▲60.1
建設業	92	▲2.4	1.2	14.1	6.9	10.6	4.6	▲2.5	▲14.8	▲18.5
卸売業	68	▲20.3	▲14.3	▲12.5	▲14.1	▲15.3	▲15.3	▲43.5	▲50.7	▲48.5
小売業	85	▲25.8	▲16.3	▲10.2	▲9.6	▲16.7	▲33.0	▲41.8	▲50.0	▲44.7
サービス業	111	▲25.0	▲20.7	▲23.9	▲6.4	▲13.3	▲8.3	▲36.4	▲66.4	▲60.0



<参考> 先行き見通し

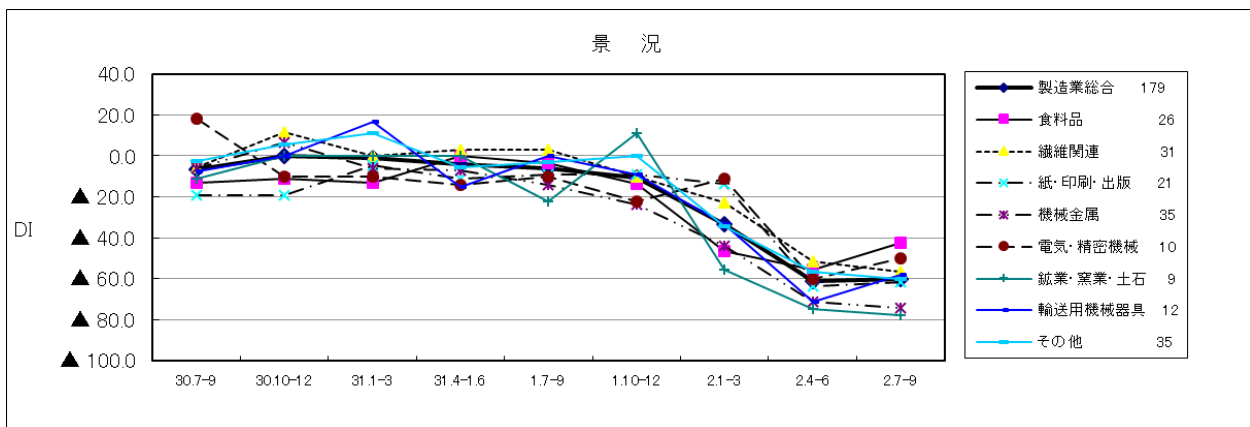
先行き見通し		30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
総合	535	▲14.8	▲12.9	▲11.0	▲10.6	▲13.8	▲18.9	▲28.3	▲44.0	▲34.9



(2) 製造業の内訳

食料品、紙・印刷・出版、電気・精密機械、輸送用機械器具ではマイナス幅が縮小した。しかし、繊維関連、機械金属、鉱業・窯業、土石、その他ではマイナス幅が拡大した。

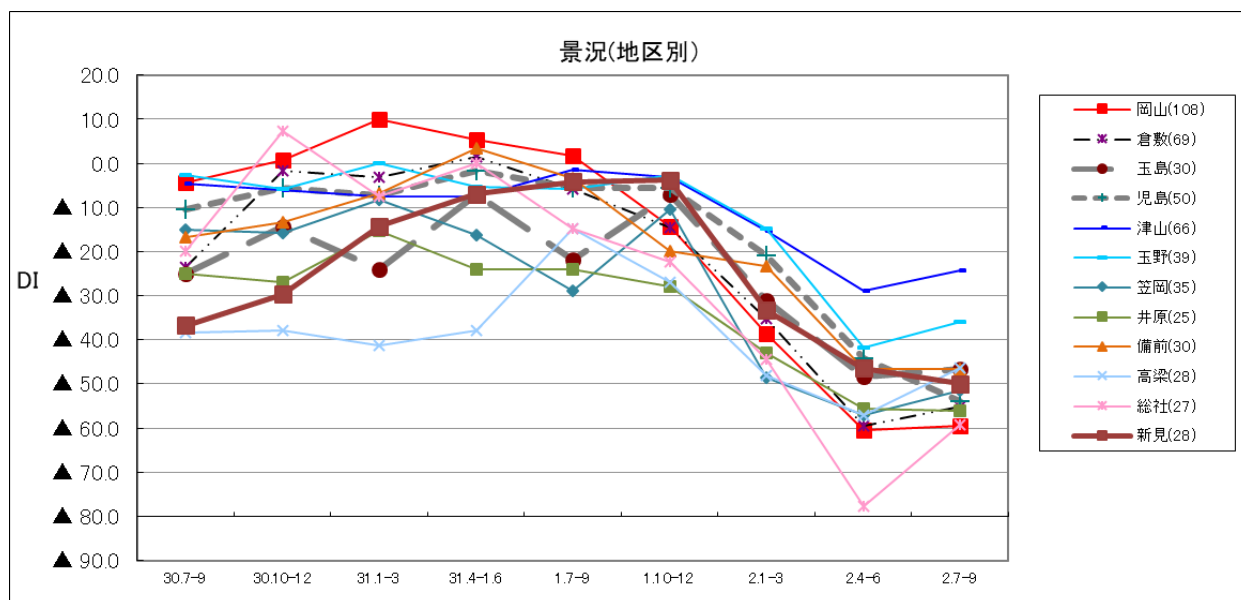
景況		30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9
製造業総合	179	▲ 6.8	0.0	▲ 1.1	▲ 4.3	▲ 5.9	▲ 10.5	▲ 33.3	▲ 61.4	▲ 60.1
食料品	26	▲ 12.9	▲ 11.1	▲ 13.3	0.0	▲ 3.4	▲ 13.8	▲ 46.4	▲ 55.6	▲ 42.3
繊維関連	31	▲ 5.6	11.8	0.0	2.9	3.0	▲ 10.0	▲ 22.6	▲ 51.6	▲ 56.7
紙・印刷・出版	21	▲ 19.0	▲ 19.0	▲ 4.5	▲ 11.1	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 13.6	▲ 63.6	▲ 61.9
機械金属	35	▲ 6.3	6.5	▲ 5.9	▲ 7.1	▲ 14.3	▲ 23.5	▲ 44.1	▲ 71.4	▲ 74.3
電気・精密機械	10	18.2	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 10.0	▲ 22.2	▲ 11.1	▲ 60.0	▲ 50.0
鉱業・窯業・土石	9	▲ 11.1	0.0	0.0	0.0	▲ 22.2	11.1	▲ 55.6	▲ 75.0	▲ 77.8
輸送用機械器具	12	▲ 7.7	0.0	16.7	▲ 15.4	0.0	▲ 9.1	▲ 33.3	▲ 71.4	▲ 58.3
その他	35	▲ 2.6	5.4	11.1	▲ 5.6	▲ 2.9	0.0	▲ 34.2	▲ 56.8	▲ 60.0



<参考>地区別

岡山、倉敷、玉島、津山、玉野、笠岡、高梁、総社ではマイナス幅が縮小、備前ではマイナスで横ばいとなった。しかし、児島、井原、新見ではマイナス幅が拡大した。

景況(地区別)	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9
岡山(108)	▲ 4.3	0.9	9.9	5.4	1.7	▲ 14.3	▲ 38.5	▲ 60.4	▲ 59.4
倉敷(69)	▲ 23.4	▲ 1.6	▲ 3.1	1.4	▲ 5.8	▲ 14.5	▲ 35.3	▲ 59.4	▲ 55.1
玉島(30)	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 24.1	▲ 6.9	▲ 21.9	▲ 6.9	▲ 31.0	▲ 48.4	▲ 46.7
児島(50)	▲ 10.3	▲ 5.7	▲ 7.3	▲ 1.8	▲ 5.7	▲ 5.7	▲ 20.8	▲ 44.2	▲ 54.0
津山(66)	▲ 4.5	▲ 6.0	▲ 7.5	▲ 7.6	▲ 1.5	▲ 3.0	▲ 15.2	▲ 28.8	▲ 24.2
玉野(39)	▲ 2.6	▲ 5.7	0.0	▲ 5.4	▲ 5.7	▲ 2.6	▲ 14.7	▲ 41.7	▲ 35.9
笠岡(35)	▲ 15.0	▲ 15.8	▲ 8.1	▲ 16.2	▲ 28.9	▲ 10.5	▲ 48.6	▲ 57.1	▲ 51.4
井原(25)	▲ 25.0	▲ 26.9	▲ 15.4	▲ 24.1	▲ 24.1	▲ 28.0	▲ 42.9	▲ 55.6	▲ 56.0
備前(30)	▲ 16.7	▲ 13.3	▲ 6.7	3.3	▲ 3.3	▲ 20.0	▲ 23.3	▲ 46.7	▲ 46.7
高梁(28)	▲ 38.5	▲ 37.9	▲ 41.4	▲ 37.9	▲ 14.8	▲ 26.9	▲ 48.0	▲ 57.1	▲ 46.4
総社(27)	▲ 20.0	7.4	▲ 7.4	0.0	▲ 14.8	▲ 22.2	▲ 44.4	▲ 77.8	▲ 59.3
新見(28)	▲ 36.7	▲ 29.6	▲ 14.3	▲ 6.9	▲ 4.2	▲ 3.8	▲ 33.3	▲ 46.4	▲ 50.0



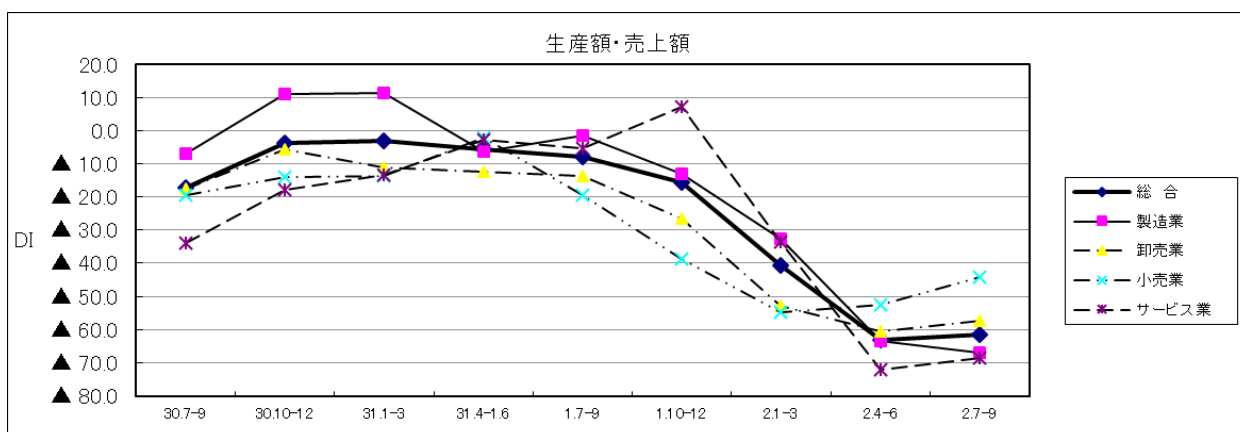
2. 生産額・売上額

(1) 全体

総合DI（増加—減少）は▲61.5と4～6月期に比べ1.7ポイントマイナス幅が縮小した。業務別では、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、製造業ではマイナス幅が拡大した。

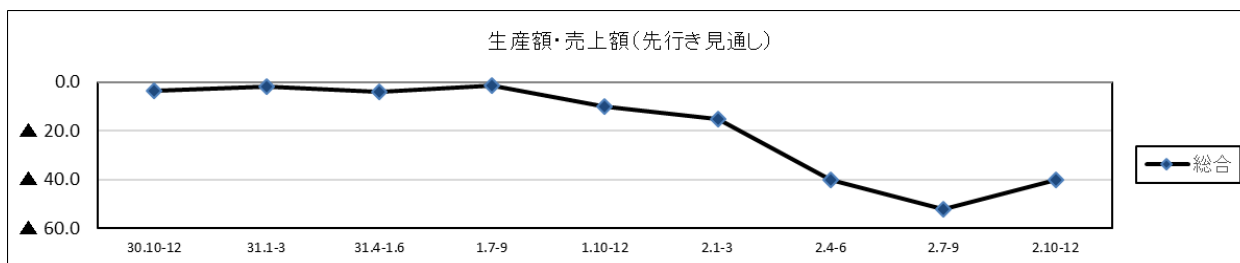
令和2年10～12月期の先行き見通し総合DIは▲40.3（前回▲52.2）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

生産額・売上額	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9
総合	▲17.2	▲3.7	▲3.1	▲5.6	▲7.9	▲15.5	▲40.6	▲63.2	▲61.5
製造業	▲6.8	10.9	11.2	▲6.3	▲1.6	▲13.1	▲32.8	▲63.4	▲67.0
卸売業	▲17.6	▲5.6	▲11.0	▲12.5	▲13.7	▲26.4	▲52.9	▲60.6	▲57.4
小売業	▲19.6	▲14.1	▲13.6	▲2.1	▲19.4	▲38.7	▲54.8	▲52.4	▲44.0
サービス業	▲34.0	▲17.9	▲13.5	▲2.7	▲5.3	7.2	▲33.6	▲72.2	▲68.5



<参考> 先行き見通し

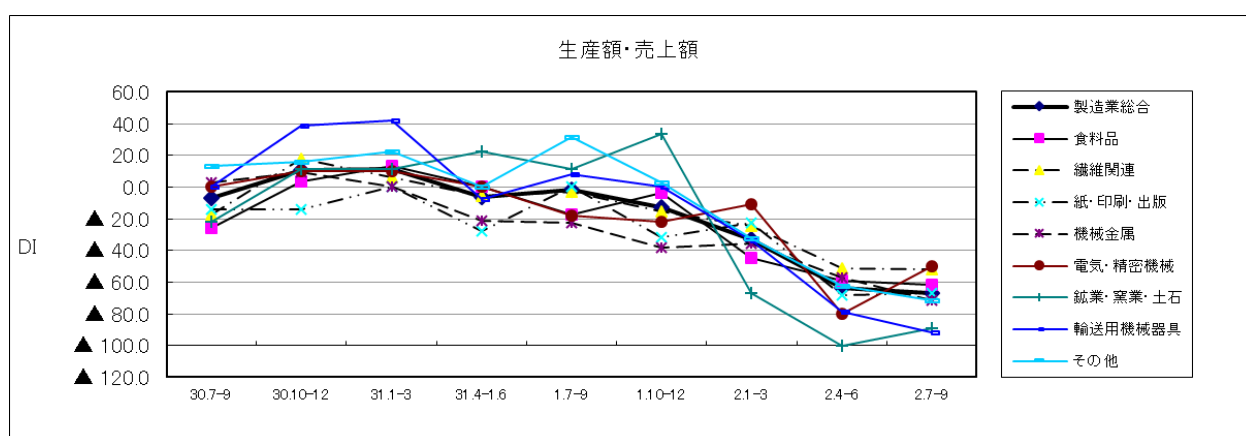
先行き見通し	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
総合	▲3.7	▲2.0	▲4.0	▲1.3	▲9.9	▲15.2	▲40.3	▲52.2	▲40.3



(2) 製造業の内訳

紙・印刷・出版、電気・精密機械、鉱業・窯業・土石ではマイナス幅が縮小した。しかし、食料品、繊維関連、機械金属、輸送用機械器具、その他ではマイナス幅が拡大した。

生産額・売上額	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9
製造業総合	▲ 6.8	10.9	11.2	▲ 6.3	▲ 1.6	▲ 13.1	▲ 32.8	▲ 63.4	▲ 67.0
食料品	▲ 25.8	3.7	13.3	0.0	▲ 17.2	▲ 3.4	▲ 44.4	▲ 59.3	▲ 61.5
繊維関連	▲ 17.1	17.6	5.9	▲ 5.6	▲ 2.9	▲ 15.6	▲ 24.2	▲ 51.5	▲ 51.6
紙・印刷・出版	▲ 14.3	▲ 14.3	0.0	▲ 27.8	0.0	▲ 31.8	▲ 22.7	▲ 68.2	▲ 66.7
機械金属	3.1	9.7	0.0	▲ 21.4	▲ 22.9	▲ 38.2	▲ 35.3	▲ 57.1	▲ 71.4
電気・精密機械	0.0	10.0	10.0	0.0	▲ 18.2	▲ 22.2	▲ 11.1	▲ 80.0	▲ 50.0
鉱業・窯業・土石	▲ 22.2	11.1	11.1	22.2	11.1	33.3	▲ 66.7	▲ 100.0	▲ 88.9
輸送用機械器具	0.0	38.5	41.7	▲ 7.7	8.3	0.0	▲ 33.3	▲ 78.6	▲ 91.7
その他	13.2	15.8	22.2	0.0	31.4	2.7	▲ 32.4	▲ 62.2	▲ 71.4



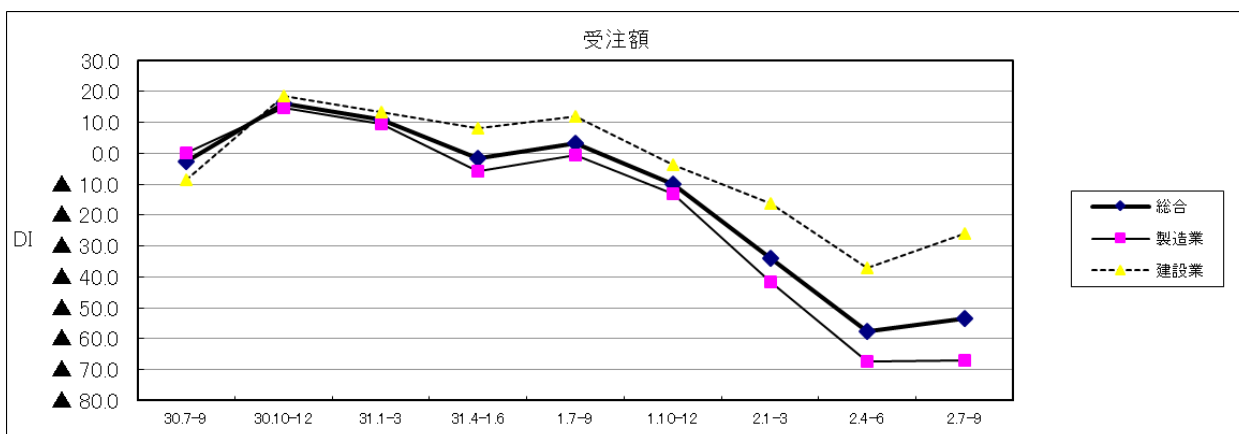
3. 受注額

(1) 全体

総合DI（増加－減少）は▲53.6と4～6月期に比べ4.1ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、建設業でマイナス幅が縮小した。

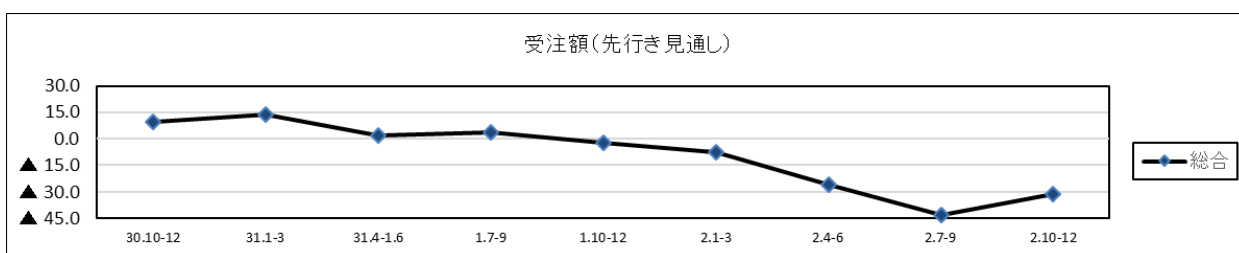
令和2年10～12月期の先行き見通し総合DIは▲31.2（前回▲43.2）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

受注額	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9
総合	▲2.6	16.0	10.7	▲1.4	3.3	▲10.1	▲33.8	▲57.7	▲53.6
製造業	0.0	14.8	9.6	▲5.8	▲0.5	▲13.1	▲41.5	▲67.2	▲67.0
建設業	▲8.5	18.6	13.3	8.0	12.0	▲3.6	▲16.3	▲37.2	▲26.1



<参考> 先行き見通し

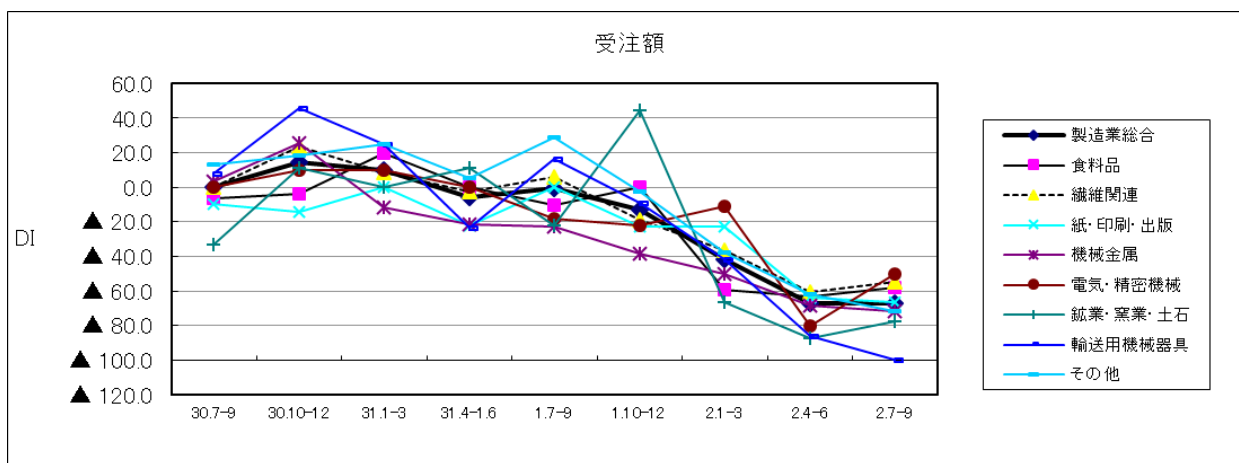
先行き見通し	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
総合	9.7	13.4	1.9	3.7	▲2.6	▲7.4	▲26.1	▲43.2	▲31.2



(2) 製造業の内訳

食料品、繊維関連、電気・精密機械、鉱業・窯業・土石ではマイナス幅が縮小した。しかし、紙・印刷・出版、機械金属、輸送用機械器具、その他ではマイナス幅が拡大した。

受注額	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9
製造業総合	0.0	14.8	9.6	▲ 5.8	▲ 0.5	▲ 13.1	▲ 41.5	▲ 67.2	▲ 67.0
食料品	▲ 6.5	▲ 3.7	20.0	0.0	▲ 10.3	0.0	▲ 59.3	▲ 63.0	▲ 57.7
繊維関連	0.0	23.5	8.8	▲ 2.8	5.7	▲ 18.8	▲ 36.4	▲ 60.6	▲ 54.8
紙・印刷・出版	▲ 9.5	▲ 14.3	0.0	▲ 22.2	0.0	▲ 22.7	▲ 22.7	▲ 63.6	▲ 66.7
機械金属	3.1	25.8	▲ 11.8	▲ 21.4	▲ 22.9	▲ 38.2	▲ 50.0	▲ 68.6	▲ 71.4
電気・精密機械	0.0	10.0	10.0	0.0	▲ 18.2	▲ 22.2	▲ 11.1	▲ 80.0	▲ 50.0
鉱業・窯業・土石	▲ 33.3	11.1	0.0	11.1	▲ 22.2	44.4	▲ 66.7	▲ 87.5	▲ 77.8
輸送用機械器具	7.7	46.2	25.0	▲ 23.1	16.7	▲ 9.1	▲ 41.7	▲ 85.7	▲ 100.0
その他	13.2	18.4	25.0	5.6	28.6	▲ 2.7	▲ 37.8	▲ 62.2	▲ 71.4



4. 原材料・商品仕入価格

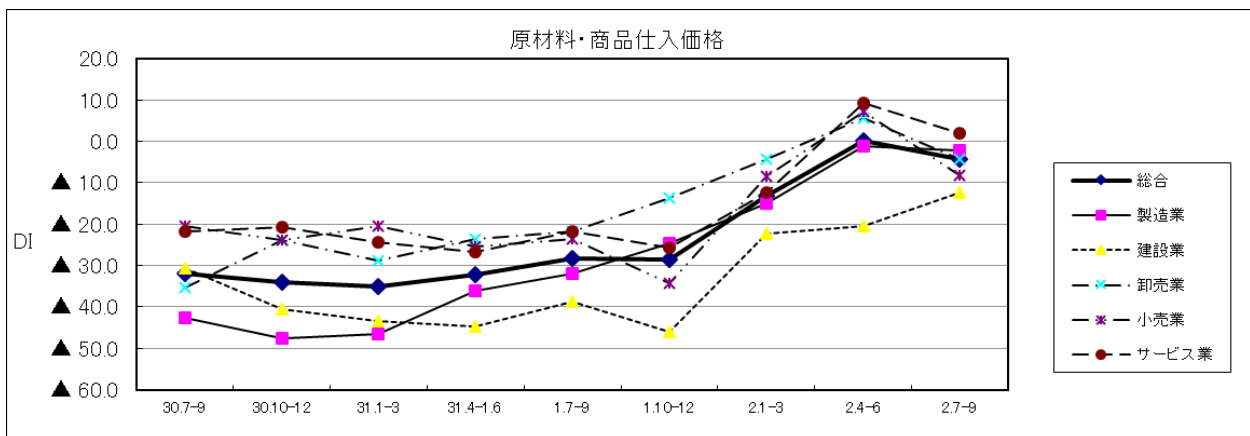
(1) 全体

総合DI（下降→上昇）は▲4.4、4と4～6月期に比べ4.4ポイント悪化しプラスマイナスゼロからマイナスへ転換した。

業種別では、建設業でマイナス幅が縮小した。しかし、サービス業ではプラス幅が縮小、卸売業、小売業ではプラスからマイナスへ転換、製造業ではマイナス幅が拡大した。

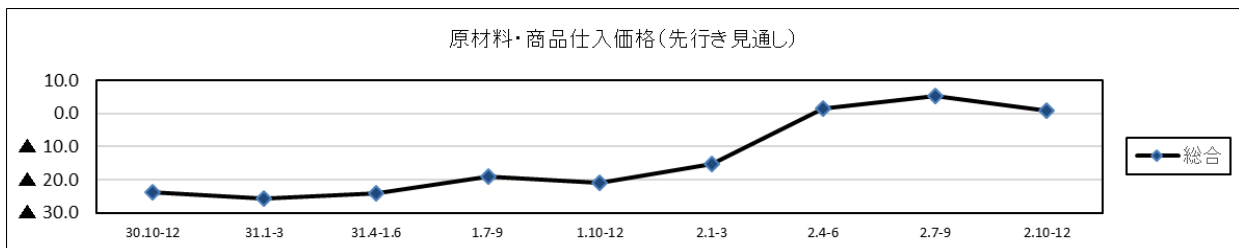
令和2年10～12月期の先行き見通し総合DIは1.0（前回5.2）となり、プラス幅が縮小する見通し。

原材料・商品仕入価格	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9
総合	▲ 31.9	▲ 34.0	▲ 35.0	▲ 32.2	▲ 28.3	▲ 28.5	▲ 13.1	0.0	▲ 4.4
製造業	▲ 42.6	▲ 47.5	▲ 46.5	▲ 36.2	▲ 31.9	▲ 24.7	▲ 15.1	▲ 1.1	▲ 2.2
建設業	▲ 30.6	▲ 40.7	▲ 43.5	▲ 44.8	▲ 38.8	▲ 46.0	▲ 22.2	▲ 20.5	▲ 12.4
卸売業	▲ 35.3	▲ 23.9	▲ 28.8	▲ 23.6	▲ 21.9	▲ 13.7	▲ 4.3	5.6	▲ 4.4
小売業	▲ 20.6	▲ 23.9	▲ 20.5	▲ 25.5	▲ 23.7	▲ 34.4	▲ 8.6	7.1	▲ 8.2
サービス業	▲ 21.7	▲ 20.8	▲ 24.5	▲ 26.7	▲ 21.7	▲ 25.7	▲ 12.4	9.2	1.9



<参考> 先行き見通し

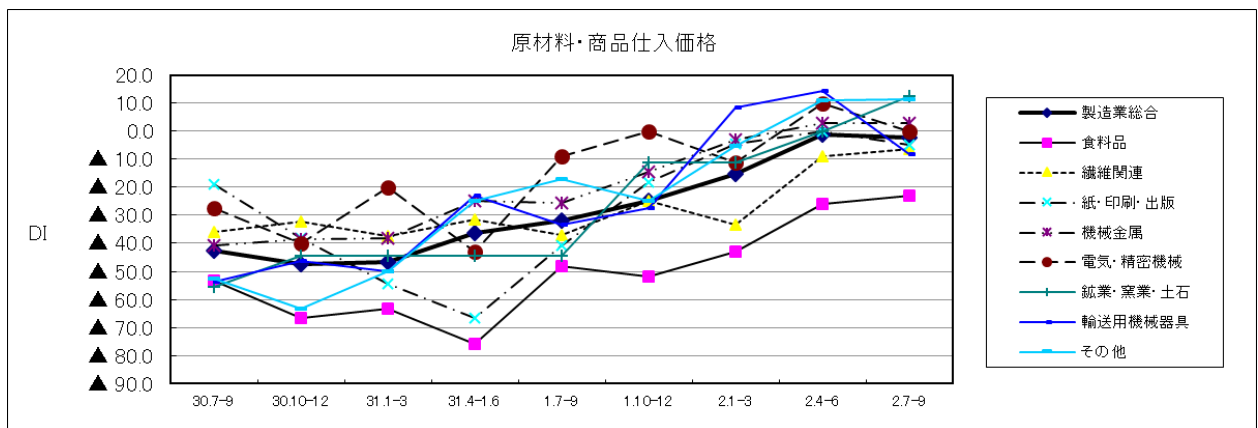
先行き見通し	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
総合	▲ 23.9	▲ 25.7	▲ 24.2	▲ 19.0	▲ 21.0	▲ 15.4	1.5	5.2	1.0



(2) 製造業の内訳

その他ではプラス幅が拡大、鉱業・窯業・土石ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、食料品、繊維関連ではマイナス幅が縮小、機械金属ではプラスで横ばいとなった。しかし、電気・精密機械ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、輸送用機械器具ではプラスからマイナスへ転換、紙・印刷・出版ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換した。

原材料・商品仕入価格	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9
製造業総合	▲ 42.6	▲ 47.5	▲ 46.5	▲ 36.2	▲ 31.9	▲ 24.7	▲ 15.1	▲ 1.1	▲ 2.2
食料品	▲ 53.3	▲ 66.7	▲ 63.3	▲ 76.0	▲ 48.3	▲ 51.7	▲ 42.9	▲ 25.9	▲ 23.1
繊維関連	▲ 36.1	▲ 32.4	▲ 37.5	▲ 31.4	▲ 37.1	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 9.1	▲ 6.5
紙・印刷・出版	▲ 19.0	▲ 38.1	▲ 54.5	▲ 66.7	▲ 40.9	▲ 18.2	▲ 4.5	0.0	▲ 4.8
機械金属	▲ 40.6	▲ 38.7	▲ 38.2	▲ 25.0	▲ 25.7	▲ 14.7	▲ 2.9	2.9	2.9
電気・精密機械	▲ 27.3	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 42.9	▲ 9.1	0.0	▲ 11.1	10.0	0.0
鉱業・窯業・土石	▲ 55.6	▲ 44.4	▲ 44.4	▲ 44.4	▲ 44.4	▲ 11.1	▲ 11.1	0.0	12.5
輸送用機械器具	▲ 53.8	▲ 46.2	▲ 50.0	▲ 23.1	▲ 33.3	▲ 27.3	8.3	14.3	▲ 8.3
その他	▲ 52.6	▲ 63.2	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 17.1	▲ 25.0	▲ 5.3	10.8	11.4



5. 製品・商品販売価格

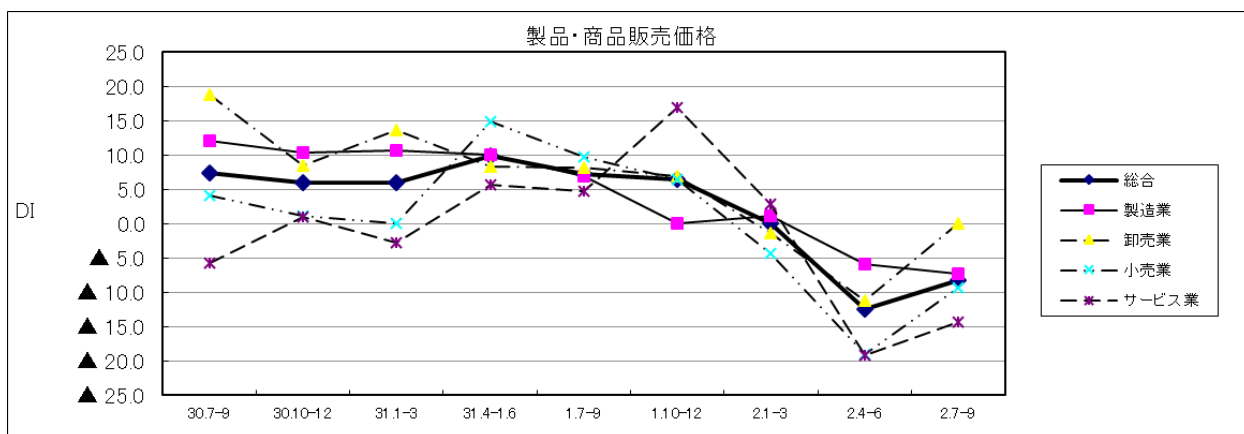
(1) 全体

総合DI（上昇-下降）は▲8.3と4～6月期に比べ4.1ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、卸売業でマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、製造業ではマイナス幅が拡大した。

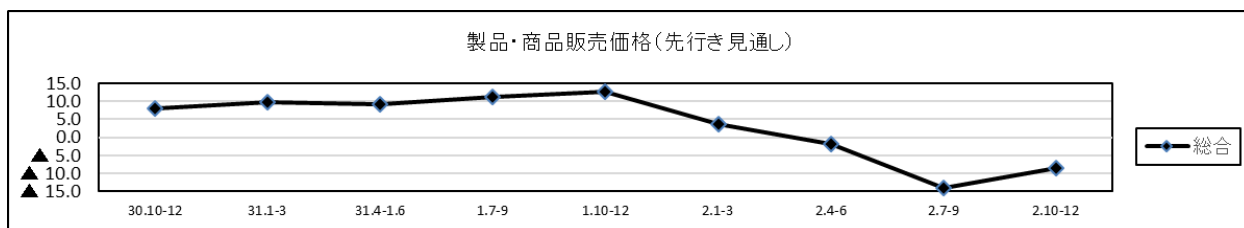
令和2年10～12月期の先行き見通し総合DIは▲8.6（前回▲14.2）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

製品・商品販売価格	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9
総合	7.4	6.0	5.9	9.8	7.2	6.4	0.0	▲12.4	▲8.3
製造業	12.0	10.4	10.7	10.1	6.9	0.0	1.1	▲5.9	▲7.3
卸売業	18.8	8.5	13.7	8.3	8.2	6.8	▲1.4	▲11.3	0.0
小売業	4.1	1.1	0.0	14.9	9.7	6.5	▲4.3	▲19.0	▲9.4
サービス業	▲5.7	0.9	▲2.8	5.7	4.8	17.0	2.9	▲19.3	▲14.4



<参考> 先行き見通し

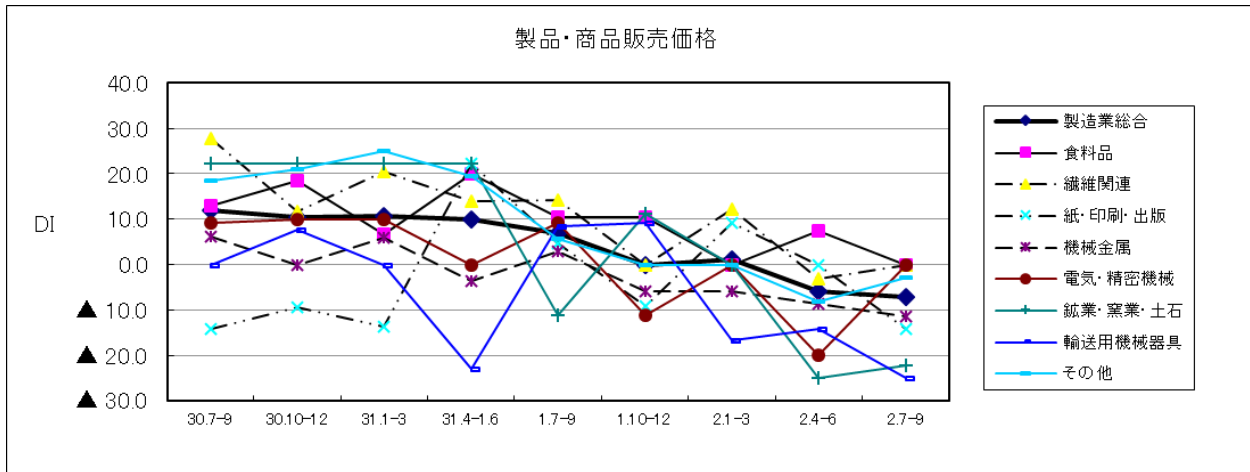
先行き見通し	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
総合	7.9	9.7	9.2	11.2	12.7	3.6	▲1.8	▲14.2	▲8.6



(2) 製造業の内訳

繊維関連、電気・精密機械ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、鉱業・窯業・土石、その他では、マイナス幅が縮小した。しかし、食料品ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、紙・印刷・出版ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、機械金属、輸送用機械器具ではマイナス幅が拡大した。

製品・商品販売価格	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9
製造業総合	12.0	10.4	10.7	10.1	6.9	0.0	1.1	▲ 5.9	▲ 7.3
食料品	12.9	18.5	6.7	20.0	10.3	10.3	0.0	7.4	0.0
繊維関連	27.8	11.8	20.6	13.9	14.3	0.0	12.1	▲ 3.0	0.0
紙・印刷・出版	▲ 14.3	▲ 9.5	▲ 13.6	22.2	4.5	▲ 9.1	9.1	0.0	▲ 14.3
機械金属	6.3	0.0	5.9	▲ 3.6	2.9	▲ 5.9	▲ 5.9	▲ 8.6	▲ 11.4
電気・精密機械	9.1	10.0	10.0	0.0	9.1	▲ 11.1	0.0	▲ 20.0	0.0
鉱業・窯業・土石	22.2	22.2	22.2	22.2	▲ 11.1	11.1	0.0	▲ 25.0	▲ 22.2
輸送用機械器具	0.0	7.7	0.0	▲ 23.1	8.3	9.1	▲ 16.7	▲ 14.3	▲ 25.0
その他	18.4	21.1	25.0	19.4	5.7	0.0	0.0	▲ 8.1	▲ 2.9



6. 製品在庫・商品在庫

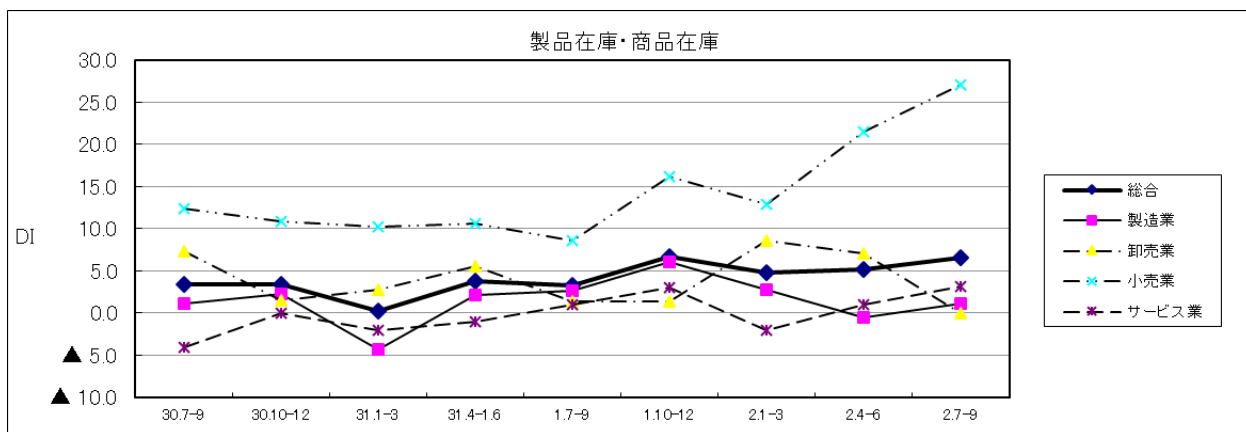
(1) 全体

総合D I（減少→増加）は6.5と4～6月期に比べ1.3ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、小売業、サービス業でプラス幅が拡大、製造業でマイナスからプラスへ転換した。しかし、卸売業ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換した。

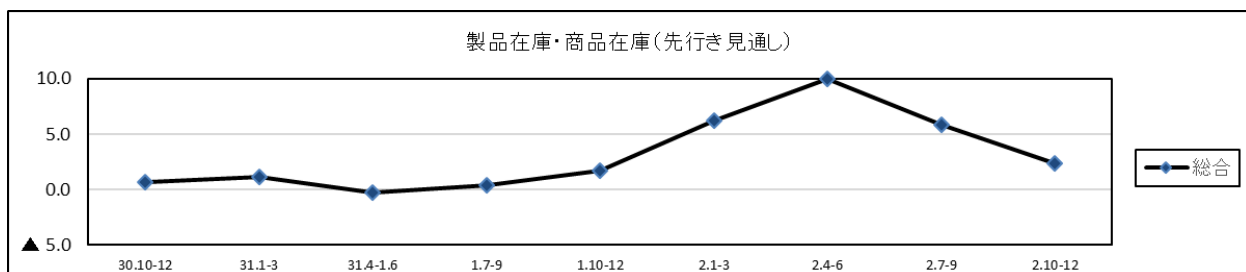
令和2年10～12月期の先行き見通し総合D Iは2.4（前回5.9）となり、プラス幅が縮小する見通し。

製品在庫・商品在庫	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9
総合	3.3	3.4	0.2	3.7	3.3	6.7	4.7	5.2	6.5
製造業	1.1	2.2	▲ 4.3	2.1	2.7	6.0	2.7	▲ 0.5	1.1
卸売業	7.2	1.4	2.7	5.6	1.4	1.4	8.6	7.0	0.0
小売業	12.4	10.9	10.2	10.6	8.6	16.1	12.9	21.4	27.1
サービス業	▲ 4.1	0.0	▲ 2.0	▲ 1.0	1.0	3.0	▲ 2.0	1.0	3.1



<参考> 先行き見通し

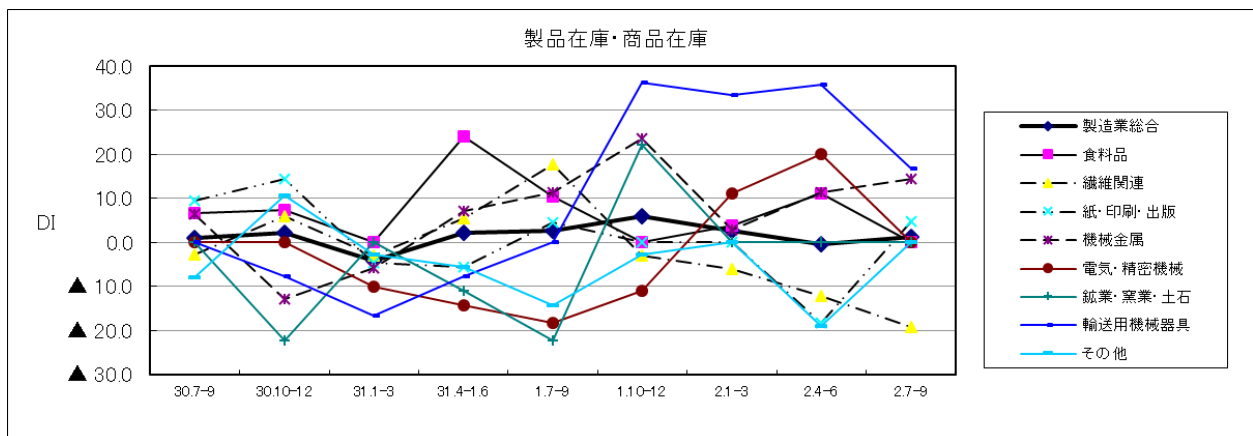
先行き見通し	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
総合	0.7	1.1	▲ 0.2	0.4	1.8	6.3	10.0	5.9	2.4



(2) 製造業の内訳

機械金属ではプラス幅が拡大、紙・印刷・出版ではマイナスからプラスへ転換、その他ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、鉱業・窯業・土石ではプラスマイナスゼロで横ばいとなった。しかし、輸送用機械器具ではプラス幅が縮小、食料品、電気・精密機械ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、繊維関連ではマイナス幅が拡大した。

製品在庫・商品在庫	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9
製造業総合	1.1	2.2	▲ 4.3	2.1	2.7	6.0	2.7	▲ 0.5	1.1
食料品	6.7	7.4	0.0	24.0	10.3	0.0	3.7	11.1	0.0
繊維関連	▲ 2.9	5.9	▲ 2.9	5.6	17.6	▲ 3.1	▲ 6.1	▲ 12.1	▲ 19.4
紙・印刷・出版	9.5	14.3	▲ 4.5	▲ 5.6	4.5	0.0	0.0	▲ 18.2	4.8
機械金属	6.5	▲ 12.9	▲ 5.9	7.1	11.4	23.5	2.9	11.4	14.3
電気・精密機械	0.0	0.0	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 18.2	▲ 11.1	11.1	20.0	0.0
鉱業・窯業・土石	0.0	▲ 22.2	0.0	▲ 11.1	▲ 22.2	22.2	0.0	0.0	0.0
輸送用機械器具	0.0	▲ 7.7	▲ 16.7	▲ 7.7	0.0	36.4	33.3	35.7	16.7
その他	▲ 7.9	10.5	▲ 2.8	▲ 5.6	▲ 14.3	▲ 2.7	0.0	▲ 18.9	0.0



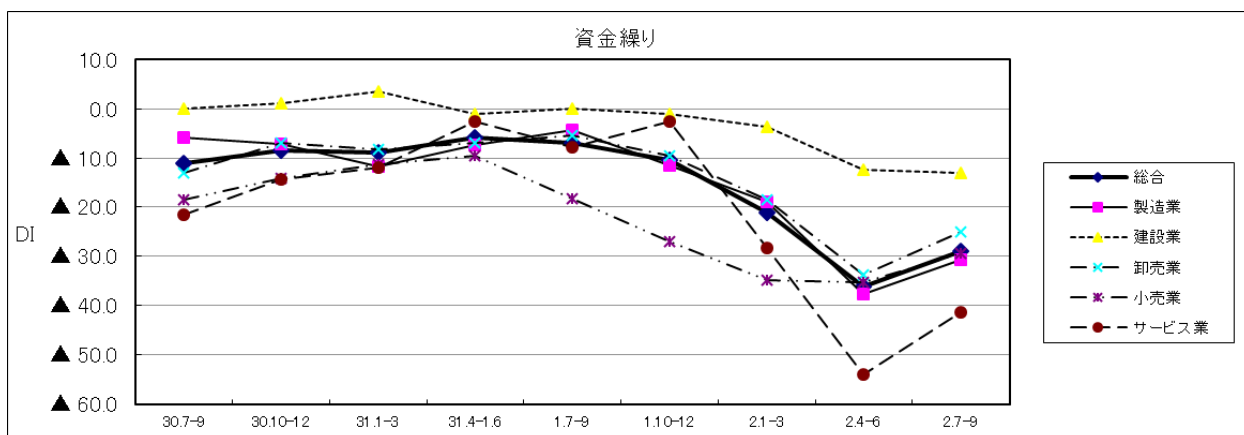
7. 資金繰り

(1) 全体

総合D I（好転－悪化）は▲29.0と4～6月期に比べ7.1ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業ではマイナス幅が拡大した。

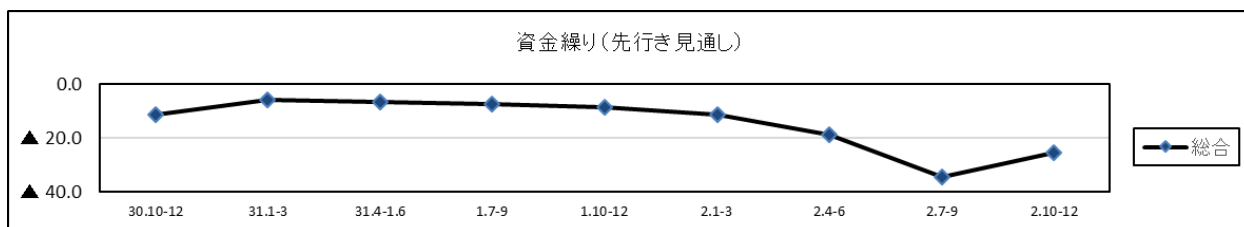
令和2年10～12月期の先行き見通し総合D Iは▲25.7（前回▲34.6）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

資金繰り	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9
総合	▲11.2	▲8.4	▲8.8	▲5.8	▲6.9	▲10.4	▲21.2	▲36.1	▲29.0
製造業	▲5.8	▲7.1	▲11.8	▲7.4	▲4.3	▲11.5	▲19.0	▲37.6	▲30.7
建設業	0.0	1.1	3.5	▲1.1	0.0	▲1.1	▲3.6	▲12.4	▲13.0
卸売業	▲13.0	▲7.0	▲8.2	▲6.9	▲5.5	▲9.6	▲18.6	▲33.8	▲25.0
小売業	▲18.6	▲14.1	▲11.4	▲9.6	▲18.3	▲26.9	▲34.8	▲35.2	▲29.4
サービス業	▲21.6	▲14.3	▲11.9	▲2.7	▲7.9	▲2.7	▲28.2	▲53.9	▲41.4



<参考> 先行き見通し

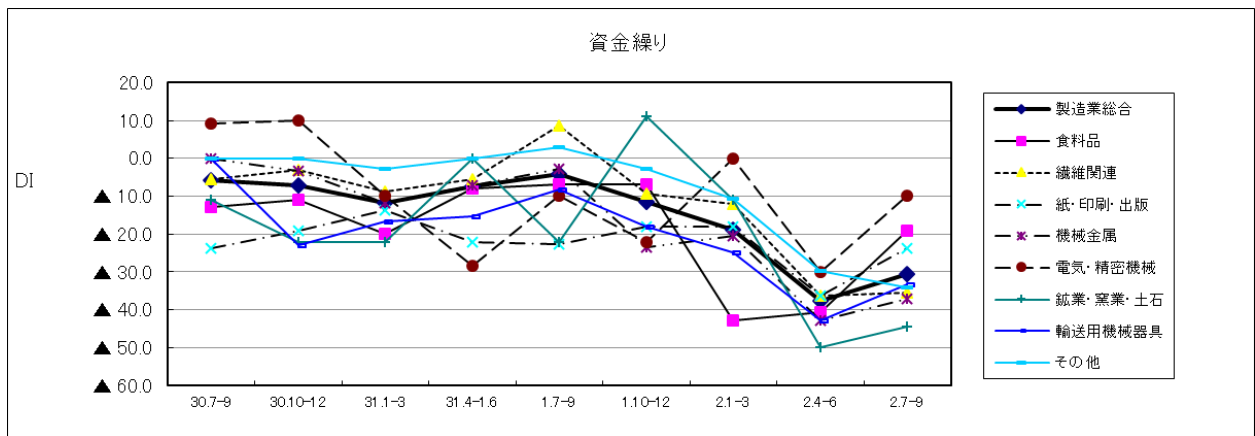
先行き見通し	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
総合	▲11.3	▲5.8	▲6.8	▲7.2	▲8.5	▲11.4	▲18.8	▲34.6	▲25.7



(2) 製造業の内訳

食料品、繊維関連、紙・印刷・出版、機械金属、電気・精密機械、鉱業・窯業・土石、輸送用機械器具ではマイナス幅が縮小した。しかし、その他ではマイナス幅が拡大した。

資金繰り	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9
製造業総合	▲ 5.8	▲ 7.1	▲ 11.8	▲ 7.4	▲ 4.3	▲ 11.5	▲ 19.0	▲ 37.6	▲ 30.7
食料品	▲ 12.9	▲ 11.1	▲ 20.0	▲ 8.0	▲ 6.9	▲ 6.9	▲ 42.9	▲ 40.7	▲ 19.2
繊維関連	▲ 5.6	▲ 2.9	▲ 8.8	▲ 5.6	8.6	▲ 9.4	▲ 12.1	▲ 36.4	▲ 35.5
紙・印刷・出版	▲ 23.8	▲ 19.0	▲ 13.6	▲ 22.2	▲ 22.7	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 23.8
機械金属	0.0	▲ 3.2	▲ 11.8	▲ 7.1	▲ 2.9	▲ 23.5	▲ 20.6	▲ 42.9	▲ 37.1
電気・精密機械	9.1	10.0	▲ 10.0	▲ 28.6	▲ 10.0	▲ 22.2	0.0	▲ 30.0	▲ 10.0
鉱業・窯業・土石	▲ 11.1	▲ 22.2	▲ 22.2	0.0	▲ 22.2	11.1	▲ 11.1	▲ 50.0	▲ 44.4
輸送用機械器具	0.0	▲ 23.1	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 42.9	▲ 33.3
その他	0.0	0.0	▲ 2.8	0.0	2.9	▲ 2.7	▲ 10.8	▲ 29.7	▲ 34.3



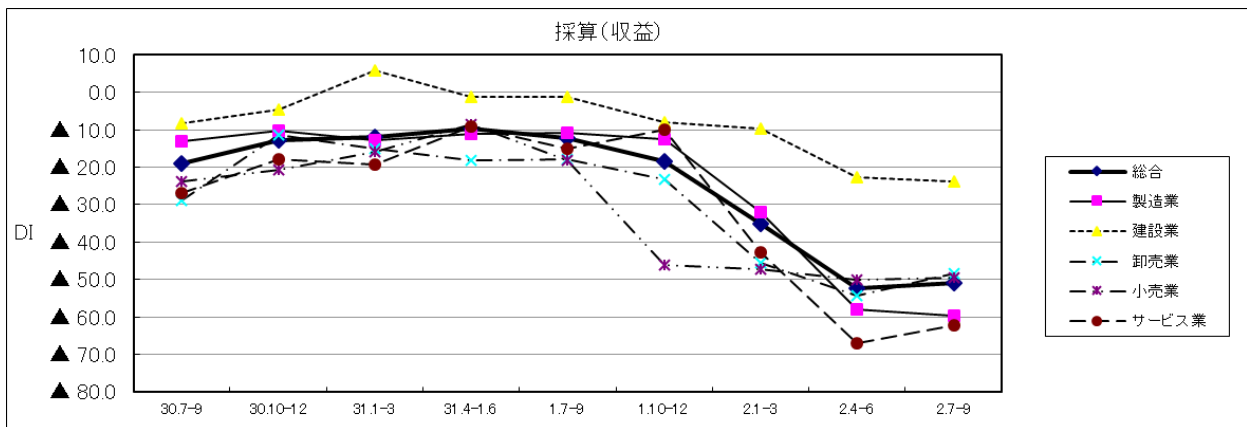
8. 採算（収益）

(1) 全体

総合DI（好転－悪化）は▲51.0と4～6月期に比べ1.5ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、製造業、建設業ではマイナス幅が拡大した。

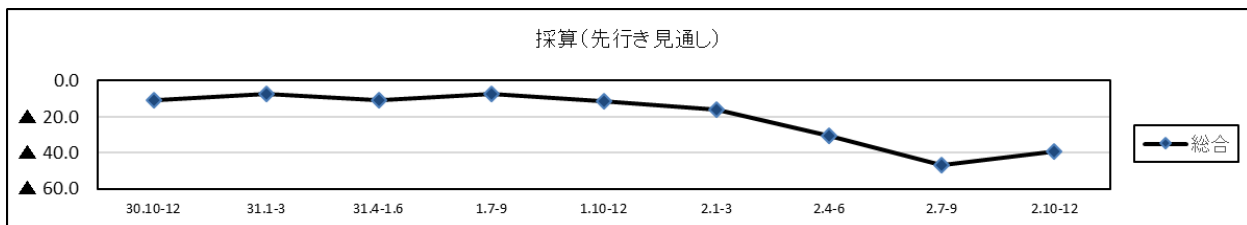
令和2年10～12月期の先行き見通し総合DIは▲39.2（前回▲47.0）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

採算(収益)	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9
総合	▲18.9	▲12.9	▲12.0	▲9.6	▲12.3	▲18.4	▲35.1	▲52.5	▲51.0
製造業	▲13.1	▲10.4	▲12.9	▲11.1	▲10.7	▲12.6	▲31.9	▲58.1	▲59.8
建設業	▲8.1	▲4.7	5.8	▲1.1	▲1.2	▲8.0	▲9.6	▲22.7	▲23.9
卸売業	▲29.0	▲11.3	▲15.1	▲18.1	▲17.8	▲23.3	▲45.7	▲54.3	▲48.5
小売業	▲23.7	▲20.7	▲15.9	▲8.5	▲18.3	▲46.2	▲47.3	▲50.0	▲49.4
サービス業	▲26.8	▲17.9	▲19.3	▲9.0	▲14.9	▲9.9	▲42.7	▲67.0	▲62.2



<参考> 先行き見通し

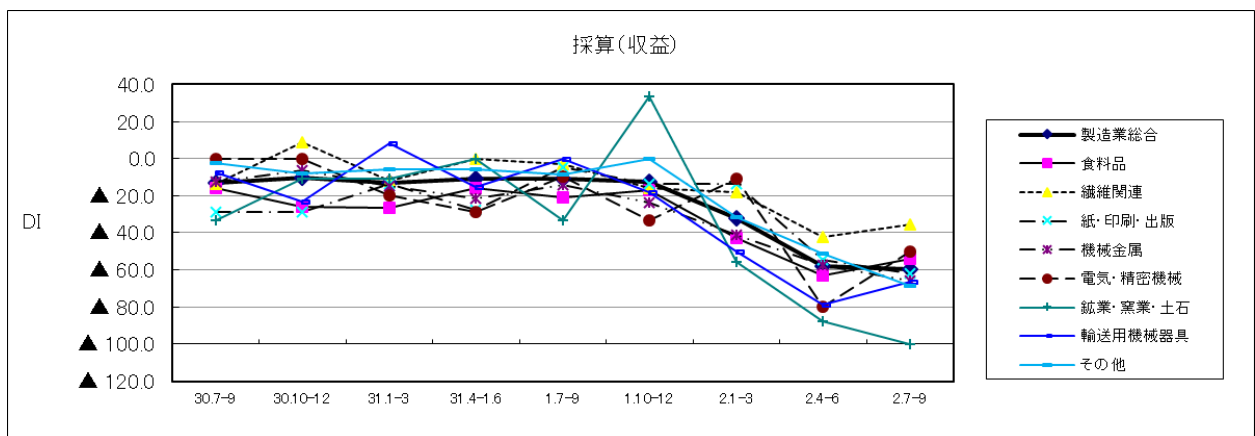
先行き見通し	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
総合	▲10.7	▲7.2	▲10.8	▲7.3	▲11.6	▲16.2	▲30.4	▲47.0	▲39.2



(2) 製造業の内訳

食料品、繊維関連、電気・精密機械、輸送用機械器具ではマイナス幅が縮小した。しかし、紙・印刷・出版、機械金属、鉱業・窯業・土石、その他ではマイナス幅が拡大した。

採算(収益)	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9
製造業総合	▲ 13.1	▲ 10.4	▲ 12.9	▲ 11.1	▲ 10.7	▲ 12.6	▲ 31.9	▲ 58.1	▲ 59.8
食料品	▲ 16.1	▲ 25.9	▲ 26.7	▲ 16.0	▲ 20.7	▲ 17.2	▲ 42.9	▲ 63.0	▲ 53.8
繊維関連	▲ 13.9	8.8	▲ 11.8	0.0	▲ 2.9	▲ 15.6	▲ 18.2	▲ 42.4	▲ 35.5
紙・印刷・出版	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 13.6	▲ 27.8	▲ 4.5	▲ 13.6	▲ 13.6	▲ 54.5	▲ 61.9
機械金属	▲ 12.5	▲ 6.5	▲ 14.7	▲ 21.4	▲ 14.3	▲ 23.5	▲ 41.2	▲ 57.1	▲ 65.7
電気・精密機械	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 28.6	▲ 10.0	▲ 33.3	▲ 11.1	▲ 80.0	▲ 50.0
鉱業・窯業・土石	▲ 33.3	▲ 11.1	▲ 11.1	0.0	▲ 33.3	33.3	▲ 55.6	▲ 87.5	▲ 100.0
輸送用機械器具	▲ 7.7	▲ 23.1	8.3	▲ 15.4	0.0	▲ 18.2	▲ 50.0	▲ 78.6	▲ 66.7
その他	▲ 2.6	▲ 7.9	▲ 5.7	▲ 5.6	▲ 8.6	0.0	▲ 31.6	▲ 51.4	▲ 68.6



9. 従業員数（常用）

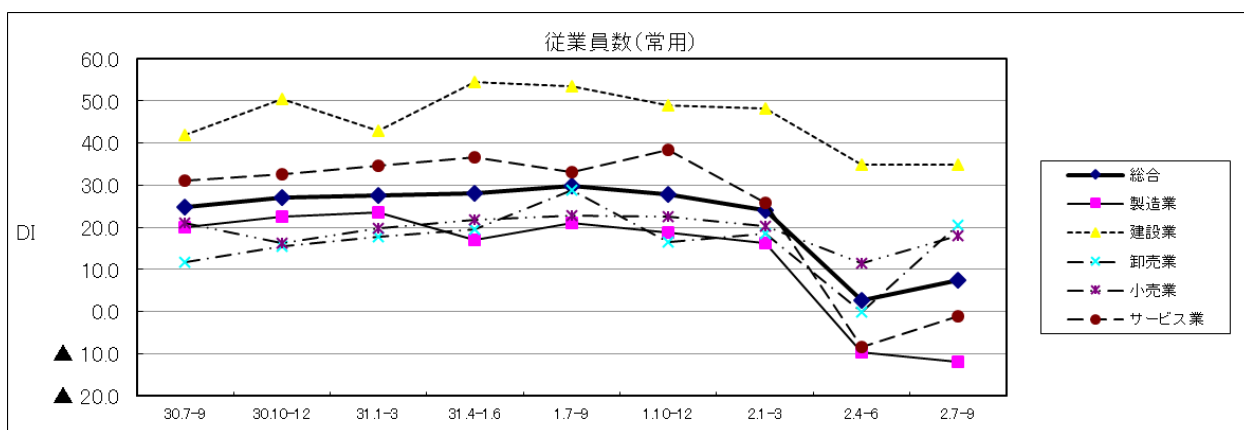
(1) 全体

総合D I（不足～過剰）は7.4と4～6月期に比べ4.8ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、小売業でプラス幅が拡大、卸売業でプラスマイナスゼロからプラスへ転換、サービス業でマイナス幅が縮小、建設業でプラスで横ばいとなった。しかし、製造業ではマイナス幅が拡大した。

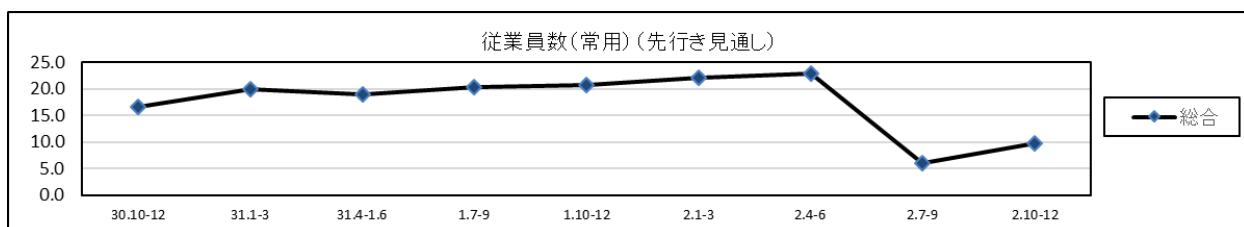
令和2年10～12月期の先行き見通し総合D Iは9.8（前回6.1）となり、プラス幅が拡大する見通し。

従業員数(常用)	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9
総合	25.0	27.2	27.5	28.1	29.9	27.9	24.2	2.6	7.4
製造業	20.0	22.7	23.7	17.0	21.0	18.7	16.4	▲9.7	▲11.9
建設業	41.9	50.6	43.0	54.5	53.5	48.9	48.2	34.8	34.8
卸売業	11.8	15.5	17.8	19.4	28.8	16.4	18.6	0.0	20.6
小売業	21.1	16.3	19.8	21.7	22.8	22.6	20.2	11.6	18.1
サービス業	31.2	32.7	34.5	36.7	33.0	38.5	25.7	▲8.3	▲1.0



<参考> 先行き見通し

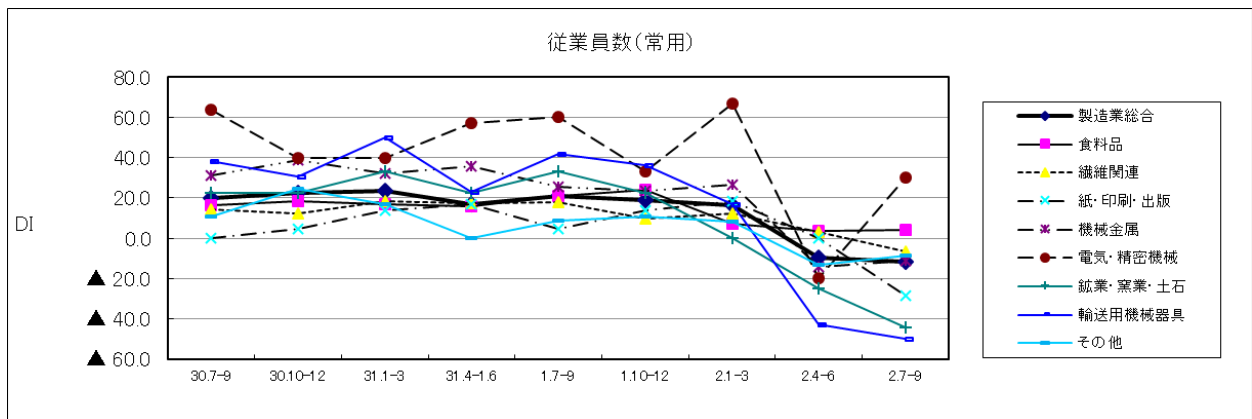
先行き見通し	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
総合	16.6	19.9	18.9	20.3	20.8	22.2	22.9	6.1	9.8



(2) 製造業の内訳

食料品ではプラス幅が拡大、電気・精密機械ではマイナスからプラスへ転換、機械金属、その他ではマイナス幅が縮小した。しかし、繊維関連ではプラスからマイナスへ転換、紙・印刷・出版ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、鉱業・窯業・土石、輸送用機械器具ではマイナス幅が拡大した。

従業員数(常用)	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9
製造業総合	20.0	22.7	23.7	17.0	21.0	18.7	16.4	▲ 9.7	▲ 11.9
食料品	16.1	18.5	16.7	16.0	20.7	24.1	7.1	3.7	4.0
繊維関連	14.3	12.1	18.2	17.1	17.6	9.7	12.5	3.0	▲ 6.7
紙・印刷・出版	0.0	4.8	13.6	16.7	4.5	13.6	18.2	0.0	▲ 28.6
機械金属	31.3	38.7	32.4	35.7	25.7	23.5	26.5	▲ 14.3	▲ 11.4
電気・精密機械	63.6	40.0	40.0	57.1	60.0	33.3	66.7	▲ 20.0	30.0
鉱業・窯業・土石	22.2	22.2	33.3	22.2	33.3	22.2	0.0	▲ 25.0	▲ 44.4
輸送用機械器具	38.5	30.8	50.0	23.1	41.7	36.4	16.7	▲ 42.9	▲ 50.0
その他	10.5	24.3	16.7	0.0	8.6	10.8	8.1	▲ 13.5	▲ 8.6



10. 従業員数（臨時）

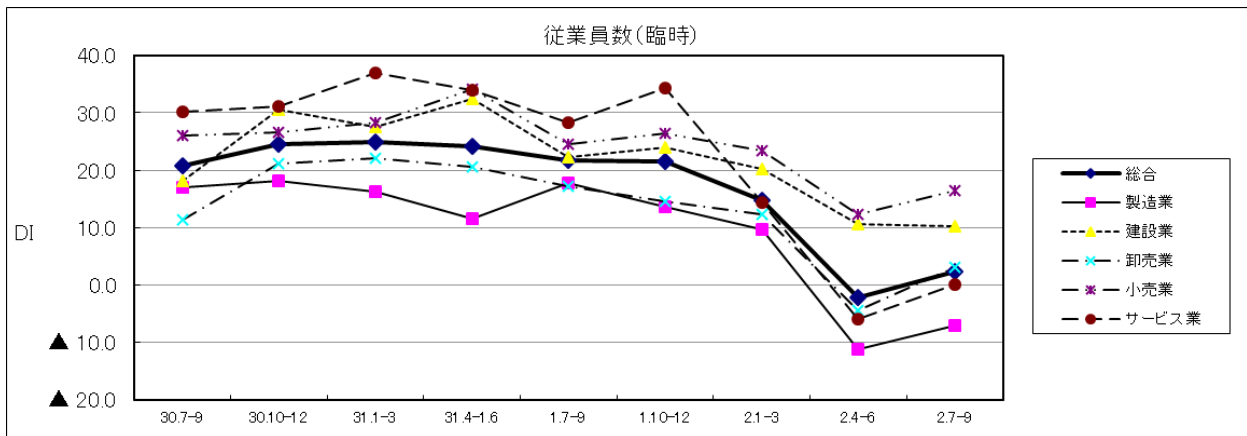
(1) 全体

総合DI（不足－過剰）は2.2と4～6月期に比べ4.4ポイント好転しマイナスからプラスへ転換した。

業種別では、小売業でプラス幅が拡大、卸売業でマイナスからプラスへ転換、サービス業でマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、製造業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業ではプラス幅が縮小した。

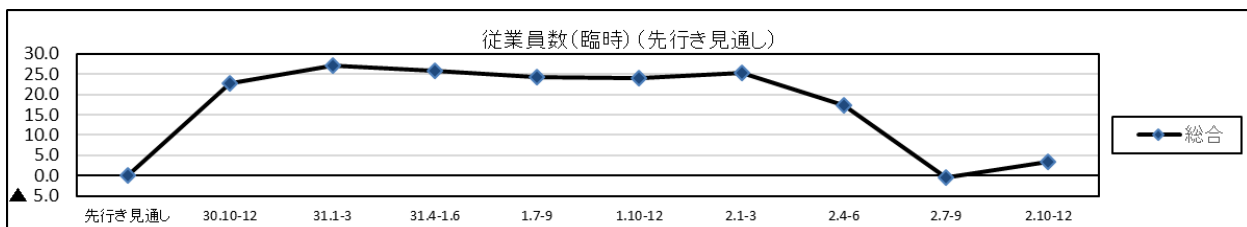
令和2年10～12月期の先行き見通し総合DIは3.3（前回▲0.6）となり、マイナスからプラスへ転換する見通し。

従業員数(臨時)	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9
総合	20.7	24.6	24.9	24.1	21.7	21.5	14.7	▲ 2.2	2.2
製造業	17.0	18.1	16.2	11.5	17.7	13.6	9.6	▲ 11.2	▲ 7.1
建設業	18.1	30.6	27.6	32.4	22.4	24.0	20.3	10.5	10.3
卸売業	11.3	21.2	22.1	20.6	17.1	14.5	12.3	▲ 4.5	3.1
小売業	26.1	26.7	28.2	34.1	24.4	26.5	23.5	12.3	16.5
サービス業	30.1	31.1	36.9	34.0	28.3	34.3	14.3	▲ 5.9	0.0



<参考> 先行き見通し

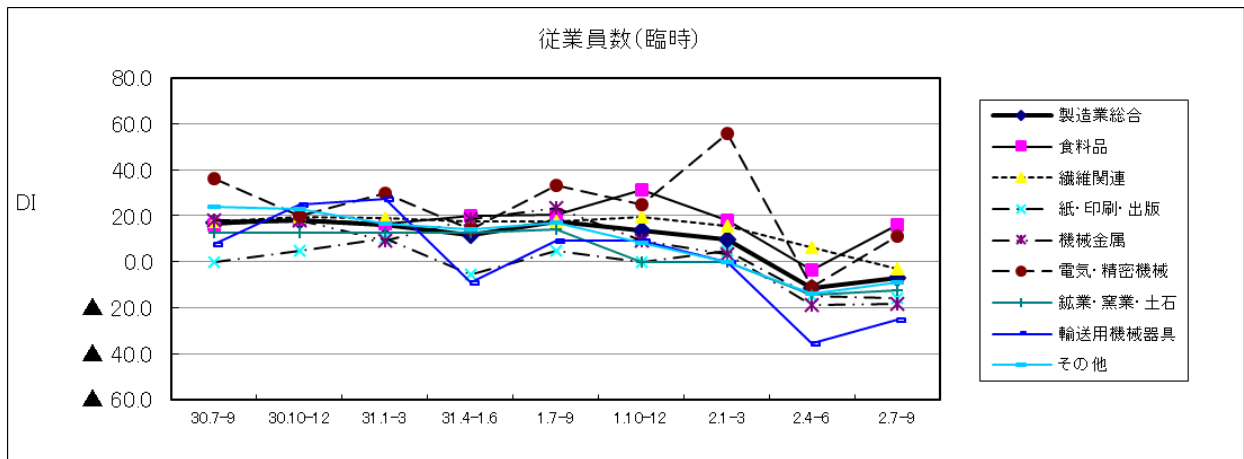
先行き見通し	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
総合	22.6	27.2	25.7	24.3	24.0	25.4	17.3	▲ 0.6	3.3



(2) 製造業の内訳

食料品、電気・精密機械ではマイナスからプラスへ転換、機械金属、鉱業・窯業・土石、輸送用機械器具、その他ではマイナス幅が縮小した。しかし、繊維関連ではプラスからマイナスへ転換、紙・印刷・出版ではマイナス幅が拡大した。

従業員数(臨時)	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9
製造業総合	17.0	18.1	16.2	11.5	17.7	13.6	9.6	▲ 11.2	▲ 7.1
食料品	16.1	18.5	16.7	20.0	20.7	31.0	17.9	▲ 3.7	16.0
繊維関連	17.6	19.4	18.8	17.6	17.6	19.4	15.6	6.1	▲ 3.3
紙・印刷・出版	0.0	5.0	10.0	▲ 5.6	5.0	0.0	4.8	▲ 15.0	▲ 15.8
機械金属	17.9	17.9	9.4	18.5	23.3	9.4	3.1	▲ 18.8	▲ 18.2
電気・精密機械	36.4	20.0	30.0	14.3	33.3	25.0	55.6	▲ 11.1	11.1
鉱業・窯業・土石	12.5	12.5	12.5	12.5	14.3	0.0	0.0	▲ 14.3	▲ 12.5
輸送用機械器具	7.7	25.0	27.3	▲ 9.1	9.1	9.1	0.0	▲ 35.7	▲ 25.0
その他	23.7	22.9	16.7	13.9	17.1	8.3	0.0	▲ 13.9	▲ 8.8



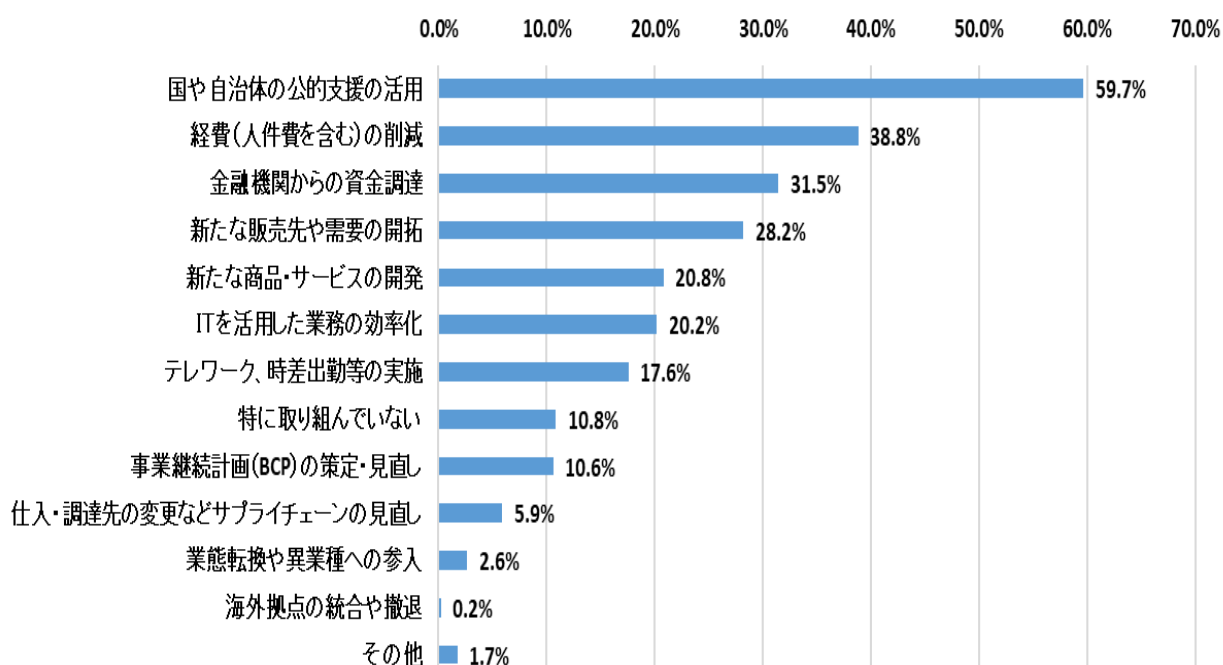
◆付帯調査：現在のコロナ禍での事業継続の取り組みについて

現在のコロナ禍の状況において、貴社が事業を継続していくために取り組んでいることは何ですか。当てはまるものを下記から選んで○印をつけてください。（複数回答可）

1. 国や自治体の公的支援の活用
2. 金融機関からの資金調達
3. 新たな商品・サービスの開発
4. 業態転換や異業種への参入
5. 新たな販売先や需要の開拓
6. 仕入・調達先の変更などサプライチェーンの見直し
7. 海外拠点の統合や撤退
8. 経費（人件費を含む）の削減
9. 事業継続計画（BCP）の策定・見直し
10. テレワーク、時差出勤等の実施
11. ITを活用した業務の効率化
12. 特に取り組んでいない
13. その他

図表1

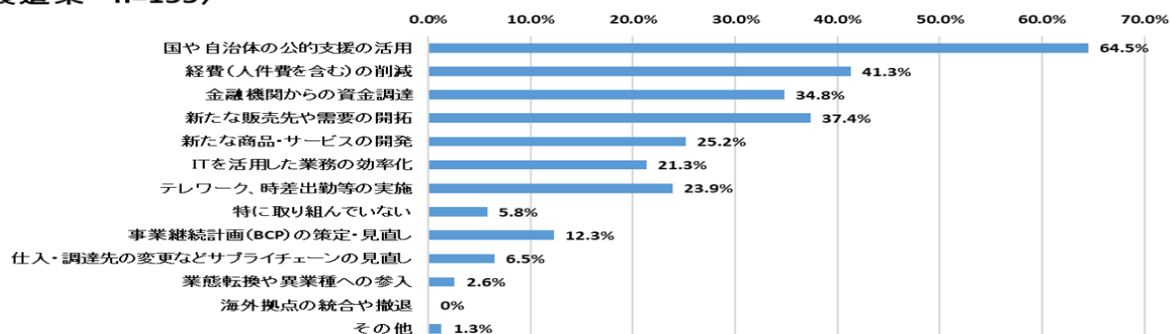
〈全体〉事業を継続していくための取り組み（複数回答） 〈n=461〉

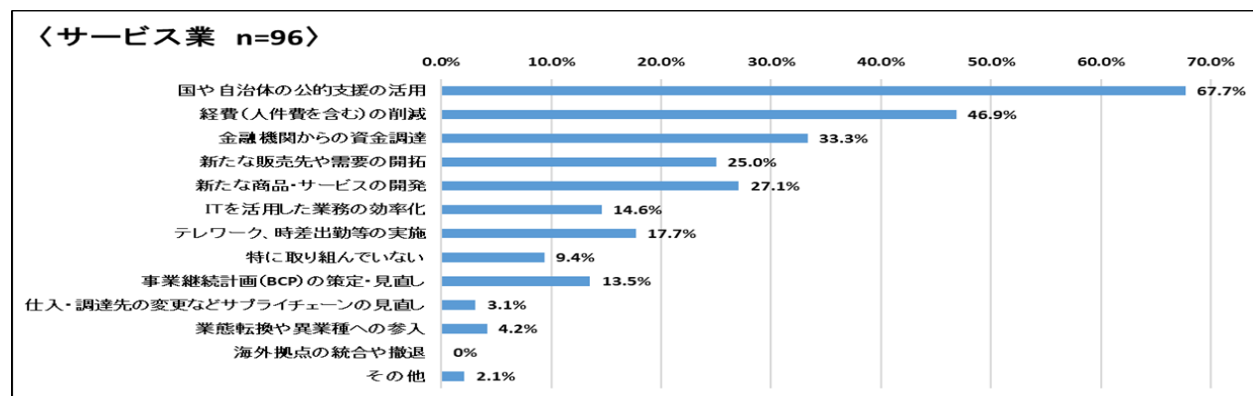
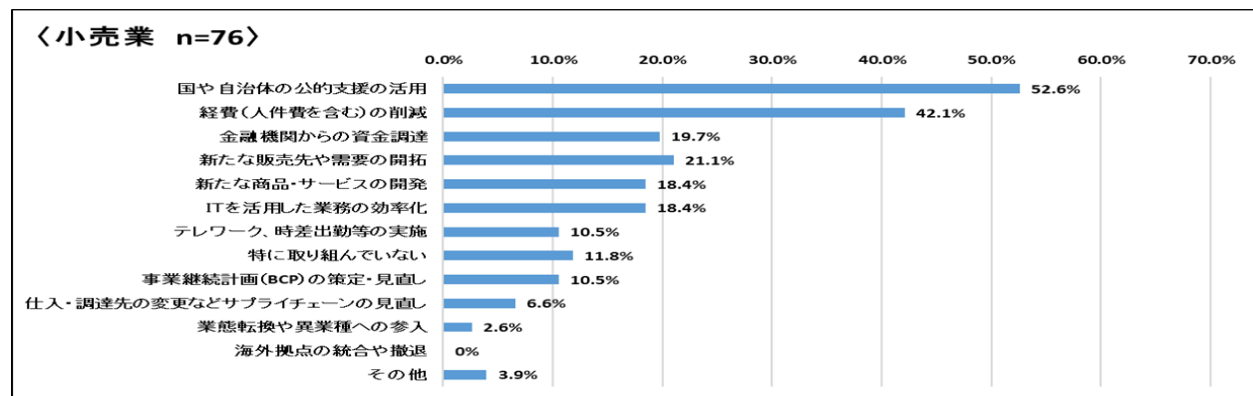
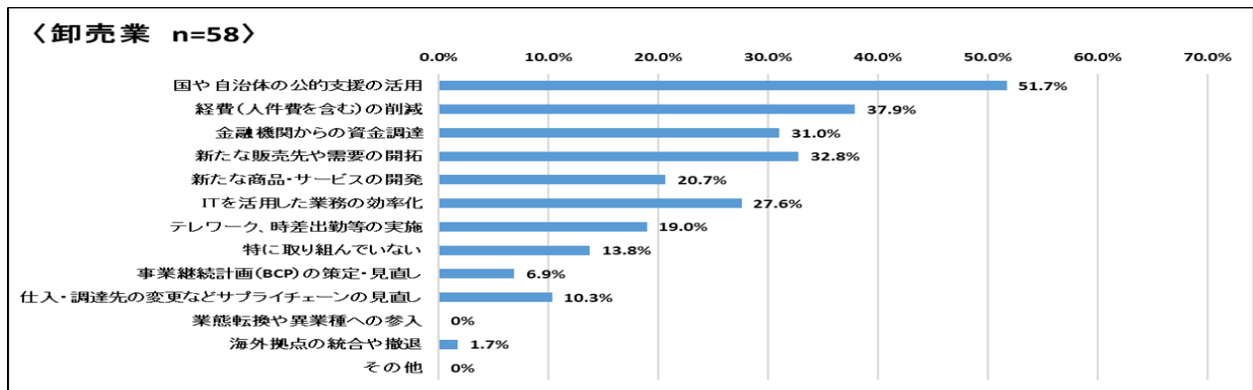
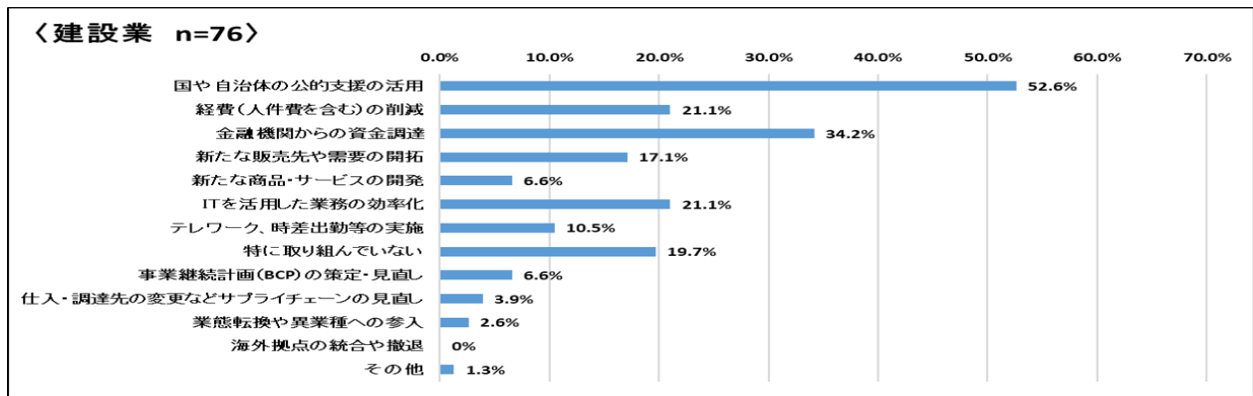


※複数回答のため、表中にラベル表記されるパーセントは回答項目を選んだ人が回答者のうち、何パーセントを占めるかを示している。そのため、各回答項目の比率を合計すると100%を超えることもある。

図表2 業種別

〈製造業 n=155〉





○その他の主な意見

- ・健康に配慮した服装の着用 (通年：ビジネスカジュアル実施) (岡山・サービス業)
- ・商品仕入量と商品在庫の見直し(倉敷・小売業)
- ・県をまたぐ出張等の制限、テレビ会議利用の推奨 ほかに(倉敷・サービス業)
- ・3密回避、マスク着用、アルコール常備、新型コロナ対策会議での定期的な情報交換(倉敷・その他の製造)